



捕手としてチームを支え、甲子園ベスト8進出の原動力に

笹谷拓海さん(17歳・佐間)

高校野球が始まって100年という節目を迎えた今年の夏。第97回全国高校野球選手権大会に出場した花咲徳栄高等学校は、同校初のベスト8に進出しました。今月は高校球児誰もが憧れる場所、聖地「甲子園」でチームの正捕手として活躍した笹谷拓海さんを紹介します。

笹谷さんは、小学2年生のときに水城少年野球チームに入団しました。「バッターが空振りしたボールを捕球したときに、ミットから鳴り響く音が心地いい」という理由から自らキャッチャーを希望。6年生になると県大会で準優勝し、行田の選抜チームにも選出されました。中学時代は熊谷リトルシニアに所属。そこで、自身の野球センスを磨いていきました。

高校は、甲子園出場経験がある花咲徳栄高等学校へ。強豪校から多数誘いを受けたが、岩井監督から「お前がいれば甲子園に行ける」という言葉をもらったことが決め手になったそうです。1年生の秋の県大会からベンチ入りし、



2年生の春にはレギュラーを獲得。3年生が引退すると、副主将として新チームを引っ張っていく存在になりました。「甲子園に行くのは俺たちだ」。強い気持ちで秋の県大会に臨みましたが準決勝で敗退し、甲子園出場のチャンスは夏の大会を残すのみとなってしまいました。

埼玉県の頂点を目指して再スタートを切った徳栄ナインですが、春から練習試合で勝てない日々が続いたそうです。笹谷さんは「あの時期はバッテリーの力が弱いと言われ続け、本当につらかったです」と振り返ります。それでも、ピッチャーのベストボールを生かす配球を考え続け、投手陣とのミーティングを繰り返したことで、投手陣との調子をとり戻していきました。

高校最後の夏、投打がかみ合ったチームは決勝に進出します。笹谷さんはこの一番で、強気なリードと強肩で投手陣を支えました。そして5対2で迎えた最終回、相手打線の猛攻を受けるも最後の打者を三振に打ち取り、ついに夢舞台への切符を手にしたのです。甲子園では打者としても活躍。3回戦で決勝打を放ち、ベスト8進出の立役者になりました。準々決勝では優勝校の東海大相模に惜敗し、高校野球に別れを告げることになりましたが、笹谷さんは「悔いはありません。今年の夏は目一杯野球を楽しめました」と晴れやかな表情を浮かべます。

今後、大学で野球を続けるという笹谷さんは「将来はプロ野球選手として活躍したい」と目標を語ります。球界を代表する強肩強打の捕手を目指して、17歳の挑戦が始まったばかりです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

俳句

- 富士見町 おおば水杜
七日目の蝉鳴けり我何なさん
荒木 藤田 栄之
清貧の昭和は遠し芋の飯
谷郷 大谷 峯生
いつも風先に来てる秋ざくら
城西 鈴木 正夫
荒屋も慣れれば楽し蝉しぐれ
南河原 今村 文女
軸変えて床の間ははや秋に入る
荒木 高澤よね子
語り継ぐ奇北の句碑や秋の寺
荒木 藤田 明枝
通草の実ばかりと開き空を知る
持田 二瓶 弘子
下駄ばきで三々五々の遠火花
富士見町 鈴木スイ子
空蟬の皆天辺を目指しをり
渡柳 川田 静江
原爆忌いつもと同じ朝むかえ
- 天満 青柳 欣吾
法師蟬余命知ってかかしましく
持田 小倉 繁三
暮敵の突如の訃報夏の朝
持田 伊藤 洋子
向日葵は天を仰ぎて焦げもせず
榎町 吉岡 守子
頬撫でる利根の川風秋近し
いく度もカレーを食べた夏終る
持田 荻原 義久
鈴虫に見惚れる妻の微笑かな
富士見町 森 節子
鈴虫の音色聞きつ、床に就く
持田 伊藤 成美
夕餉どき会話遮る蟬時雨
持田 田中 和夫
稲ながめ雀の家族実り待つ
忍 飯島 素子
独り根付きし百合を今朝の供華
(三沢 一水 監修)

はじめまして



平成26年12月生まれのお子さんを募集します

○10月1日(木)～30日(金)に電話またはEメールで
広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、11月2日(月)午前11時から
市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成26年10月生まれのおともだち ★★★



村社 朋輝ちゃん(榑田町)
平成26年10月8日生まれ
父・朋洋さん 母・範枝さん
「実桜お姉ちゃん」と
仲良くね♡



新矢 彩乃ちゃん(門井町)
平成26年10月30日生まれ
父・雄大さん 母・理恵さん
「我が家のアイドル
彩乃です♡」



櫻庭 実ちゃん(持田)
平成26年10月11日生まれ
父・誠さん 母・良子さん
「いつも元気をありがとう♡」



利根川 敦之ちゃん(門井町)
平成26年10月30日生まれ
父・惇さん 母・貴子さん
「すへく大きくなつてね!」



塩川 桐華ちゃん(門井町)
平成26年10月20日生まれ
父・達也さん 母・美佳さん
「いっぱい食べて
大きくなつて!」



高野 心優ちゃん(城西)
平成26年10月3日生まれ
父・信人さん 母・里沙さん
「元気に大きくなあれ♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!!

東日本メディコム株式会社

医療と環境から人々の健やかな生活を支える



会社プロフィール

代表取締役 **松本 運造**

【事業内容】 医事コンピューターと電子カルテの販売およびサポート、医療機関および調剤薬局用ソフトウェアの開発・販売、太陽光発電システムの販売・オール電化製品の販売
【住所】 斎条128

東日本メディコム株式会社は昭和54年の創業以来、病院や診療所、調剤薬局で使われているコンピューターの販売とソフトウェアの開発を行っています。患者の電子カルテや処方箋の管理、診療報酬の算定といった業務を迅速かつ正確に処理するソフトウェアで、医療機関の業務の効率化を支えています。「私たちは現場の要望を反映させながら、ソフトウェアの設計から構築まで一貫して自社で行っています。自社で開発したソフトウェアはメーカーであるパナソニックを通じて全国の調剤薬局さまに提供しています。また、医学系の大学と連携し、共同研究することで使いやすさを追求しているんですよ」と代表取締役の松本運造さんは開発の裏側を語ります。現場での声を重視して開発した結果、優れた商品が誕生。現在では県内の医療機関や調剤薬局において約40パーセントのシェアを占めているそうです。

また、仕事で付き合いのあった医師から太陽光発電ができるかかと相談されたことをきっかけに、平成16年より太陽光発電システムの設置を中心とした環境事業も開始しました。「未来の環境事業も開始しました。」「未来の子供達にきれいな地球を残しませんか」を合言葉に、医療事業で培った信頼を生かして、医療機関や医療関係者に太陽光発電の設置を提案。また、一般住宅への設置も積極的に行っており、平成26年度まで行田工コタウンプロジェクトの一環として実施した官民連携の住宅用太陽光発電システム設置促進の取り組みにも協力しました。さらに、熊谷市・鴻巣市・羽生市に、大規模な太陽光発電システムを設営したり、本社社屋にも発電システムを取り付けたりと会社を挙げてソーラーエネルギーの普及と二酸化炭素削減に取り組んでいます。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。